

諸遊議員

**保育所の
米飯給食は？**

教育委員会

再度検討する



3歳以上はご飯を持参

【諸遊】 保育所において、3歳以上見はおかずのみの給食で持参した冷たいご飯を食べている。

保育所を統合して、保育の充実をはかる。その中に温かいご飯の提供も検討すべきでは。

【教育委員会】 ご飯を持参することで園児は家族のあたたかさを感じる。また、3歳から5

歳の子どもは食べる量に大きな差がある。自分の子どもが食べる量を考えてご飯を弁当箱に詰めることも家族の愛情ではないか。

今のところ3歳以上児の完全給食実施は困難と考えている。再度、保護者を交えて教育委員会でも検討をしていきたい。

【諸遊】 近年、若い年齢層にアレルギー疾患が急増している。町内小学生で20〜30%が何らかのアレルギー疾患である。

1歳未満児の幼少期に牛とふれ合い、エンドトキシン（細菌毒素の一部）を体に取り入れると、アレルギーが少なくなるといってテレビ放送があった。

そこで、県内唯一の酪農教育ファーム資格を持つ町内の酪

諸遊議員

酪農を健康づくりに

町長

活動のPRはできる

農家と契約を結び、ヤングファミリー健康づくり講座のようなものを開き、自然体験と健康づくりを

【町長】 専門医によると、国内でも疫学研究分野で有効性などの議論は進められているが、現段階で予防医療としてのガイドラインは示され

ていない。

町として予防医療の観点で健康づくりに位置付けはできないが、このような信頼性の高いマスコミの情報を活用することで、酪農教育ファームやその活動をより魅力的に町内外にPRしていくことはできると考える。



牛とふれあう子ども